

事業所名

若楠児童発達支援センター（放課後等デイサービス）

支援プログラム 参考様式

作成日

6年

8月

1日

法人（事業所）理念		地域の障害児及び発達不安あるこどもに対して、ひとりひとりの特性にあった学び方を尊重し、自立・社会参加に向けた学習の場を保障し、その支援の中核的役割を果たします。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの特性や発達段階について、丁寧にアセスメントをおこないます。 ・こどもに合った課題設定をおこない、日常生活動作や言語・コミュニケーションの向上を促します。 ・こどもに合った環境のなかで成功体験を積むことで、主体性を育みます。 						
営業時間		9時	分から	17時	分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	生活に必要な動作の獲得（食事、衣類の着脱、排泄…） 障害特性に配慮した時間や空間の工夫 等 ・生活環境の調整 ・手指の巧緻性						
	運動・感覚	生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動操作 感覚の特性に必要な配慮 等 ・感覚統合 ・ものの操作 ・力の加減						
	認知・行動	認知の特性理解（認知の誤りへの対応） 数量、大小、色等の習得 等 ・自立課題 ・遊びの展開、持続						
	言語 コミュニケーション	物の要求や意思疎通などのコミュニケーション手段の習得 小集団や1対1でのやりとり、順番決め、貸し借り 等 ・コミュニケーションツール						
	人間関係 社会性	ルールのある遊び順番や交代 困った場面での援助要求 役割活動（道具の操作、使い方等）等 ・ソーシャルスキル ・自己感情のコントロール						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて個別に話す時間を設ける ・ご家庭や事業所での情報を共有し、ご家庭での困り事に対して助言を行う ・ご家庭で取り入れられそうな方法を提案し、実践してもらおう。実践後の様子を再度聞き取り、情報を共有する 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子を聞きとったり、小学校へ様子を見に行ったりし、必要に応じて支援方法や環境調整に関する相談援助を行う ・進路や移行先の情報提供を行い、必要に応じて関係機関との会議の開催や、情報共有を行う 		
地域支援・地域連携		ライフステージに合わせ、より良い社会参加の実現に向け、必要な関係者や関係機関と連携を図りながら、サポートを行う			職員の質の向上	専門職、分野による年5回の勉強会 外部講師 セミナーへの参加、受講		
主な行事等		季節行事（春夏秋冬） 年2回学校訪問						